

## New Crown 第10回 Lessons

### Lesson 10-1: 所有代名詞

I/you などの代名詞には「主格」「所有格」「目的格」といった格がありました。そして、この格とセットで覚えるようによく言われるのが、今回学ぶ「所有代名詞」というものです。この所有代名詞は「〇〇の(もの)」（例：私の(もの)です）といったように「所有格+名詞」の意味を表します。

主格	所有代名詞 〈～の(もの)〉	例文
I	mine 〈私の(もの)〉	That bag is mine. 〈あのカバンは私の(もの)です〉
you	yours 〈あなた(たち)の(もの)〉	Is this yours? 〈これはあなたの(もの)ですか〉
we	our 〈私たちの(もの)〉	This bus is not ours. 〈このバスは私たちの(もの)ではありません〉
they	theirs 〈彼らの(もの)〉 〈彼女らの(もの)〉	That car is theirs. 〈あの車は彼らの(もの)です〉
he	his 〈彼の(もの)〉	That car is theirs. 〈あの車は彼らの(もの)です〉
she	hers 〈彼女の(もの)〉	That car is theirs. 〈あの車は彼らの(もの)です〉
it	*—	—
Tom (代名詞以外)	Tom's 〈トムの(もの)〉	That book is Tom's. 〈あの本はトムの(もの)です〉

\*it の所有代名詞に its というものがあるが、使われるのは極めてまれ。

「所有代名詞」は、「所有代名詞+名詞」の形にはならないの(例：mine pen / yours pen のようにはならない)ので注意してください。

### Lesson 10-2: 現在進行形の肯定文

現在進行形とは「勉強している」「食べている」といった、ある動作が今この瞬間行われていると  
いった「動作が一時的なもの」を説明する時によく使われます。例えば「私は英語を勉強している」という文章の場合「この瞬間は英語を勉強しているけど、1分後は何をしているか分からない」といったことを表す際によく用いられます(ちなみに、日常的に「英語の勉強をする」という場合は、現在形が用いられます)。

現在進行形の基本的な形は「be 動詞＋一般動詞の原形 ing」となります。大きな特徴は

「be 動詞」と「一般動詞」が同時に登場する

というものです。

**【現在進行形の肯定文：基本の形】**

**am**

主語＋ **is** ＋ 一般動詞の原形 **ing** ＋～.

**are**

(「主語」は「一般動詞」しています)

- <例> I am studying English. (私は英語を勉強しています)  
He is playing basketball. (彼はバスケをしています)  
We are eating breakfast. (私たちは朝食を食べています)

**【作り方】**

- ステップ 1. 一般動詞の**肯定文**を作る。  
ステップ 2. **be 動詞**を一般動詞の前に足す。  
ステップ 3. 一般動詞を**原形に戻し**、後ろに **ing** を足す。

<例：私は英語を勉強しています>

ステップ 1. 一般動詞の肯定文を作る。 「私は英語を勉強します」

I study English.

ステップ 2. be 動詞を一般動詞の前に足す。

I am study English.

ステップ 3. 一般動詞を原形に戻し、後ろに **ing** を足す。

I am studying English.

**Lesson 10-3 : ing をつける際に注意しないといけない動詞**

一般動詞の中には「普通には ing を普通に足せない動詞」や「そもそも進行形にしない動詞」などがあります。

**【普通には ing を足せない一般動詞】**

	原形	ing 形
パターン 1	use (使う)	using (使っている)
パターン 2	run (走る)	running (走っている)
パターン 3	lie (横になる)	lying (横になっている)

パターン1 = 語尾が e で終わる動詞。 e を消して ing。

<他の例> make (作る) → making (作っている)

パターン2 = 最後が「子音+母音+子音」の動詞は、基本的に最後の子音を重ねて ing。

<他の例> swim (泳ぐ) → swimming (泳いでいる)

パターン3 = 語尾が ie で終わる動詞は、ie → y で ing。

<他の例> die (死ぬ) → \*dying (死にかけている)

\*進行形は、動詞によっては「何かの動きの途中 (未完了)」を表すことができます。

<例> die = 死ぬ	dying = 死にかけている (だんだん死に近づいていっている)
stop = 止まる	stopping = 止まりかけている (だんだん速度を落としている)
lose = 失う/負ける	losing = 失いつつある (だんだん失っていっている) 負けつつある (負けそうになっている)
win = 勝つ	winning = 勝ちつつある (勝ちそうになっている)

### 【基本的に進行形にしない一般動詞】

(1) 「状態」を表す動詞

<例> know (知っている)

(2) 「構成」や「所有」を表す動詞

<例> have (持っている)

(3) 「知覚」や「心の動き」を表す動詞

<例> like (好き) want (ほしい)

※しかし、これらのルールにあてはまらない例外もありますので、注意してください。

### 【ポイント！】

進行形は原則「その瞬間行なわれているもの」を説明する時に使われるため、動作が続くことが前提の動詞は基本的に進行形にならない。

(1) know / need

→「今、この瞬間は知っているけど、次の瞬間忘れてしまう」なんてことは通常ない。

(2) have / own

→「今、この瞬間は持っている (所有している) けど、次の瞬間無くしてしまう」ということは通常ない。

(3) like / want

→「今、この瞬間は好き (ほしい) けど、次の瞬間嫌いになる (ほしくなくなる)」ということは通常ない。

## Lesson 10-4 : 現在進行形 否定文

現在進行形の否定文は、基本的に be 動詞の否定文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞の後に not を足してあげれば完成となります。

### 【現在進行形の否定文：基本の形】

主語 + be 動詞 + not + 一般動詞の原形 ing + ~。  
(「主語」は「一般動詞」していません)

<例> I am not watching TV. (私はテレビを見ていません)  
He is not (isn't) studying English. (彼は英語の勉強をしていません)

### 【作り方】

ステップ 1 : 進行形の肯定文を作る。

ステップ 2 : be 動詞の後ろに not を足す。

(am 以外の be 動詞の場合、be 動詞と not の短縮形を使うことも可)

<例：私はテレビを見ていません>

ステップ 1 : 進行形の肯定文を作る。→ 「私はテレビを見ています」

I am watching TV.

ステップ 2 : be 動詞の後ろに not を足す。

I am not watching TV.

## Lesson 10-5 : 現在進行形 疑問文

現在進行形の疑問文も、基本的に be 動詞の疑問文と同じ扱いになります。そのため、肯定文を作り、be 動詞を文頭に持ってくれば完成となります。

### 【現在進行形の疑問文：基本の形】

be 動詞 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?  
(「主語」は「一般動詞」していますか)

<例> Are you watching TV? (あなたはテレビを見ているのですか)  
Is she talking \*to your mother? (彼女は、あなたの母親と話しているのですか)

\*「～と話す」という場合、talk with / talk to という表現が良く使われる。

### 【現在進行形の疑問文：作り方】

ステップ 1 : 進行形の肯定文を作る。

ステップ 2 : 文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を ? にする。

<例：あなたはテレビを見ているのですか>

ステップ1：進行形の肯定文を作る。→ あなたはテレビを見ています。

You are watching TV.

ステップ2：文の先頭に be 動詞 を持ってきて、最後を？にする。

Are you watching TV?

### 【疑問文の答え方】

答え方は、基本的に Yes / No の2種類。

Yes, 代名詞 be 動詞.

No, 代名詞 \*be 動詞 not.

\* am 以外の場合、be 動詞+not の短縮形を使うのが一般的。

be 動詞で聞いているので be 動詞 で答える。

do / does / did で答えないように注意。

<例> Are you studying English with Ben?

Yes, I do. =×

<例> **Are you watching TV?**

はい → **Yes, I am.**

いいえ → **No, I am not. (No, I'm not.)**

そして、現在進行形の疑問文に、What や Who といった疑問詞を足す場合は、疑問詞を疑問文の前に足してあげれば OK です。

### 【疑問詞+現在進行形の疑問文：基本の形】

疑問詞 + be 動詞 + 主語 + 一般動詞の原形 ing + ~?

<例> What are you doing? — I am doing my homework.

(あなたは何をしているのですか。— 私は、私の宿題をしています)

Who is he talking with? — He is talking with Mr. Murai.

(彼は誰と話しているのですか。— 彼は村井さんと話しています)

### 【作り方】

ステップ1：疑問詞の部分（何、など）に同じ種類の適当な単語を入れて疑問文を作る。

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

<例：あなたは何をしているのですか>

ステップ1：疑問詞の部分（何）に同じ種類の適当な単語を入れて肯定文を作る。

→ 「あなたは、あなたの宿題をしているのですか」

Are you doing your homework?

ステップ2：入れた“適当な単語”を「疑問詞」に戻す。

Are you doing what?

ステップ3：疑問詞を文頭に持ってくる。

What are you doing?

## Lesson 10-6: 様々なフレーズ⑧

### 1. take a bath = お風呂に入る      take a shower = シャワーを浴びる

<例> I take a bath every day.      <私は、毎日お風呂に入ります>  
He is taking a shower.      <彼は、シャワーを浴びています>

#### 〔補足説明〕

take の代わりに have が使われることもある。

<例> I can't have a bath today.      <私は今日お風呂に入ることができません>

### 2. dance to the music = 音楽に合わせて踊る

<例> She is dancing to the music.      <彼女は音楽に合わせて踊っています。>

#### 〔補足説明〕

to は「～へ向かって」というイメージのため「その場で音楽が流れており、その音楽に向かって踊る」というイメージ。「その場所で流れている音楽」と限定されているため、the music となっているが、どの音楽か限定されていない場合は、dance to music と the が省略される。

<例> I like dancing to music.      (私は音楽に合わせて踊ることが好きです)

### 3. listen to ~ = ~を聞く / ~を聴く / ~に耳を傾ける

<例> What are you listening to?      <何をあなたは聴いているのですか>

#### 〔補足説明〕

命令文で Listen to me. (私の話を聞いて) というフレーズもよく使われる。また、to を使わず、Are you listening? ((あなたは私の話を)聴いている?) といったように使うことも可。

「聞く」という意味で hear という単語がある。hear は「耳に入ってくる」「聞こえる」といったイメージ。一方で、listen to は「耳を傾けて、積極的に聞こうとする」ことをさす。そのため、music (音楽) の場合は、主に listen to が使われ、bell (鐘 / ベル) などは hear が使われる。

#### 4. in the picture = 写真に写っている

<例> Are you in the picture? <あなたは写真に写っているのですか>

##### 〔補足説明〕

前置詞は in が使われるのがポイント。「写真の中にいる」といったイメージ。多くの場合、どの写真について話しているか限定されているため、the picture となる。また、picture の代わりに photo / photograph という単語もよく使われる。

#### 5. the next ~ = 次の ~    ○○ (所有格) next ~ = ○○の次の ~

<例> What is the next class? <次の授業は何ですか >

##### 〔補足説明〕

多くの場合、文脈上「何の次（上の例で言えば「今あった授業の次）」なのか限定されているため、the（または、所有格）が next の前につく。

#### 6. in / at the cafeteria = カフェテリアで

<例> He is in the cafeteria. <彼はカフェテリアにいます>

##### 〔補足説明〕

in だと「カフェテリアの中で」となるのに対し、at の場合だとカフェテリアの中に限らず「カフェテリアの入り口」なども含まれる。基本的に文脈上「どこのカフェテリア」かが限定されているため、the（または、our などの所有格）がつく。